

## 平成27年度 「施設めぐり&市長とトーク」

「施設めぐり&市長とトーク」は、小中学生に市政をより身近に感じてもらうことを目的とし、市内にある施設の見学や、普段なかなか話す機会のない市長と気軽に懇談することにより、子どもたちの夏休みの貴重な思い出づくりとなるよう実施しました。

- 開催日 平成27年8月6日（木）
- 内容 ・施設めぐり 市有バスで市内各施設見学 9:00～14:30  
・市長とトーク  
市役所3階特別会議室にて市長と懇談 14:50～16:00
- 出席者 <参加者> 小学生10名 保護者7名 計 17名  
<市側> 市長

### ● 施設めぐり

#### 【見学コース】

9:00	市役所出発
9:30～10:30	中央卸売市場
11:00～12:30	ろまんちっく村（昼食）
13:00～14:00	大谷資料館

#### 見学の様子



中央卸売市場を見学

中央卸売市場では、マイナス50度の冷蔵施設体験など、普段はなかなか見ることが出来ない市場の様子を見学し、流通の仕組みなどについて学びました。

大谷資料館では、大谷石地下採掘場跡などを見学しました。巨大な地下空間で「わあ～すごい！！」と皆さんの驚きの声があがりました。



マイナス50度の世界を体験！



大谷資料館前で集合写真

## ● 市長とトーク 主な内容（抜粋）

参加者 お休みの日は何をしていますか。

市長 ほとんど休みはありません。お正月の休日などは読書やテレビを観たりしています。

参加者 学校のプールの更衣室が壊れてしまいました。どうすれば修理してもらえますか。

市長 更衣室の件は校長先生から聞いています。今は、皆さんに教室で着替えてもらっていますが、今後直していきたいと考えています。直すにあたっては、仮の更衣室を作るのか、それとも本格的な更衣室を作るのか、校長先生と検討しているところです。もう少し待っていてください。

参加者 7月に行われた「平和のつどい」に参加したが、話していることが難しくて良くわからなかったです。

市長 「平和のつどい」は毎年やっている事業です。昔、宇都宮市も空襲にあい、中心部が焼き尽くされました。まち中にある大銀杏も爆撃を受けました。倒れはしませんでしたけど焼けてしまいました。それが昭和20年7月12日でした。宇都宮市は、平成8年に平和都市宣言を行い、翌年から7月12日を平和の日とするとともに、7月12日から8月15日を平和月間としました。亡くなった方に哀悼の意を捧げるとともに、戦争の悲惨さを後世に伝えるために、平和のつどいを開催しています。お話がわかりにくかったということですので、今後は皆さんにもわかりやすく伝える工夫をしていきたいと思っています。

参加者 本市において世界遺産や文化遺産を推薦していこうという動きはありますか。

市長 世界遺産というと日光の東照宮などが有名ですが、宇都宮にはそういうものはありません。宇都宮は総合力で頑張っていこうと思っています。例えば、

ジャパンカップサイクルロードレースは世界中の人たちがすごいと言ってくれるイベントであり、ジャパンカップと言えば「宇都宮」と世界の人も知っています。特にヨーロッパでは有名です。日本でスポーツと言えば、サッカー、野球、相撲などですが、ヨーロッパでは、スポーツというと、オリンピック、サッカー、自転車、だそうです。ヨーロッパの人たちから見ると、アジア最高峰のサイクルロードレースが宇都宮で開催されていることが素晴らしい、うらやましい、と言われます。世界遺産として推薦できるものはなかなかありませんので、総合的に宇都宮ブランドの魅力を出していこうと思いますので、みんなで魅力ある宇都宮をつくっていきましょう。

参加者 宇都宮市のおすすめの場所がありますか。

市長 私が好きなのは、JR宇都宮駅です。JR宇都宮駅は、たくさんの方が集まる場所で、年間の乗降者数は約1,400万人です。北関東の拠点としてとても大切なところですよ。また、宇都宮城址公園も好きです。皆さんは行ったことがありますか。上河内・河内にも自然がたくさんあり、清原地区では梨やトマト等の栽培も盛んです。大谷資料館も素晴らしいです。行ったことのない場所がありましたら、是非皆さんも行ってみてください。

参加者 どうすれば市長になれますか。

市長 難しい言葉を使ってしまうのですが、選挙を行い、市民の皆さんから選ばれました。もし、選挙という言葉がよくわからなかったら、今日、引率で来てくれるお母さんにあとで聞いてみてください。

参加者 いつから市長になりたいと思いましたか。

市長 市長になってから11年たちます。この部屋には歴代の市長の写真が飾ってありますが、前の市長が辞めることになり、次に市長になる人を選ぼうという動きが出てきました。候補者は何人かいました。自分もそれまでまちづくりに携わってきましたが、市長になればまちづくりの課題を整理し、理想のまちづくりが実現出来るのでは、と思いました。

参加者 火事になったらどうしますか。

市長 宇都宮市には消防署があちこちにあります。すぐに駆けつけてくれて火を消してくれます。消防士はもちろん、普段は仕事をしている人も、いざという時には消防団員として活動してくれます。

参加者 逃げる時にはどうしたらいいですか。

市長 家族や周囲の人と安全な所に逃げてください。火事だけでなく、地震や台風もありますので、日ごろからどこに逃げるかなど、周囲の大人や家族の人とよく話をしておいてください。

参加者 市長が一日の最初にやる仕事はどんなことですか。

市長 ある日の1日のスケジュールを紹介します。朝は、8時半ごろに市役所に着きます。9時までは自席で書類の整理や決裁などを行います。9時から、たくさんの部署の職員から様々な案件の報告を受けました。9時半からは、市長・

副市長をはじめ、各部署の部長との会議をこの部屋で行いました。そのあと、政策会議という会議を行い、さまざまな事業について今後どうするかを話しあいました。10時半からは褒章などを受けた人たちのお祝いをしたり、民生委員児童委員を退職する方への感謝状の贈呈式を行いました。午後は、1時から2時までは市長室で事務執務を行い、わからないことを調べたりしました。スケジュールは10～15分単位で入っています。商工会議所の人や経済同友会などをはじめ、さまざまな方や団体との面会を行います。この時間もだいたい15分です。夕方は、医療関係者やスポーツチームなどとの会合や懇談をホテルで行いました。すべて終わったのが夜の8時ごろでした。このような1日を送っています。

休みの日には地域の行事などに参加します。今の時期は夏祭りなどですね。運動会や敬老会などにも出席します。

参加者 私はリンク栃木ブレックスが好きですが、市長は好きなプロスポーツチームはありますか。

市長 栃木SC・ブレックス・ブリッツェンの3つのプロスポーツチームは宇都宮の宝です。宇都宮市も頑張って応援しています。この3つのプロスポーツチームには、それぞれ市の職員が派遣されており、各チームのさまざまな事業のお手伝いをしています。ブレックスの試合は観にいったことがありますか。

参加者 はい、あります。

参加者 学校でお米の勉強をしています。日本人の主食であるお米と、パンやめん類では何が好きですか。

市長 お米をよく食べます。パンはお昼にたまに食べるくらいです。朝は毎日お米を食べています。お米を食べると力が出ます。皆さんには、宇都宮で採れたお米や野菜をたくさん食べてもらいたいです。そうでないと、宇都宮で農業をやっている人がどんどん減ってしまい、外国からの輸入に頼らないといけなくなります。

宇都宮市のお米の栽培面積は約6,000ヘクタールで、約51万人の宇都宮市民の皆さんに十分行き渡る量が作られています。東京ドーム1,300個分の面積です。でも、お米が安い値段でしか売れなくなってきたなどにより、農業をやっている人も魅力がないなと思う人がだんだん増えてきました。また、農業をやっている人の半分以上が65歳以上の高齢者の方ですが、農業を続けていくことが体力的につらくなってきたのでやめてしまう人など、後継者がなかなかいないことなどにより、農業の規模が小さくなってしまいました。

皆さんには、宇都宮で採れたお米や野菜をたくさん食べてもらいたいです。

参加者 市長の小さい頃の夢は何でしたか。

市長 父がおせんべいの工場をやっていました。小さい頃から、おせんべいを焼いているところをよくみていました。自分もおせんべい屋を継ごうと思っていた

ので、立派なおせんべい屋さんになることが夢でした。

参加者 餃子消費量の日本一をとるためにどんな活動をしていますか。

市長 昨年は残念ながら全国2位になってしまいました。餃子は宇都宮市の宝です。浜松や京都など他市の餃子にはない美味しさをみんなでアピールしていきましょう。他の市の人食べにくるような仕掛けを宇都宮餃子会の皆さんと一緒に考え、1位をとりたいと考えています。

また、「宇都宮市をどんなまちにしたいか」という質問がありましたが、宇都宮市がみんなから選ばれるまちにしたいと考えています。今、全国の市町村は宇都宮市を含めて約1,700ありますが、その中でも5本の指に入るようなまちにしたいです。

広報広聴課長 宇都宮市は食育に力を入れていますが、皆さんの好きな給食のメニューは何ですか。また、こんな給食にしてほしい、というアイデアがありましたらお願いします。

参加者 ココアの揚げパンが好きです。

市長 給食の揚げパンはきなこ味とココア味がありますね。お母さんたちが給食を食べていた頃は、1種類しかなかったですよ。私が給食を食べていた頃には揚げパンが一番人気があり、揚げパンが出る日は学校を休む人もいなかったほど人気でした。

参加者 私はカレーライスが好きです。

市長 私が子どもだった頃はカレーの時はパンで、ライスは出てきませんでした。

参加者 給食でラーメンが出てきたらいいと思います。

市長 全部の小中学校に栄養士をおき、子どもの成長に応じた栄養を考え、給食をつくっています。皆さんの好きな揚げパンやラーメンばかりを食べるのは、栄養面を考えると難しいです。

参加者 夏休み明けから、給食の時間に自分でご飯をよそうようになると言われました。全部の小学校がそうですか。

市長 今までは、炊飯業者が作ったものを学校に運んでいたところもありましたが、今年度、市内全ての小中学校で自校炊飯になります。自校炊飯というのは、自分の学校でご飯を炊いて出すことです。そのため、自分でよそってみましょうという話になったのかもしれませんが。

参加者 学校のクラスのことですが、40人だとどうして1クラスになってしまうのですか。

広報広聴課長 国の基準があって、40人だと1クラス、41人になると2クラスになります。基準日があって、その基準日を超えて人数が増えた場合は2クラスになりません。

市長 1・2年生については、栃木県独自の基準を作って35人で1クラスとしていますが、3年生以上は40人が基準となっています。

また、宇都宮市は習熟度別の授業も行っているほか、司書の先生が市内の小

中学校93校全てに配置されています。このように宇都宮市単独で設置している先生などの数が450人にも上っています。

また、小学生の読書量は1月当たり28冊で、全国でもトップクラスだと思います。

参加者 西原小の近くに、新しい一条中学校が作られていますが、学校を新しく作り新しい制服を決めるときは、市長が選ぶのですか。

市長 私ではなく、学校の校長先生が中心となって決めていると思います。一条中の制服が新しいものになるかどうかはわかりません。



市長とトークの様子



最後に市長と記念撮影しました